

# 第8回産学官連携推進会議 分科会

## 金沢大学T L Oの挑戦

## G A P F U N D、 10大学提携技術移転機能

2009年6月20日

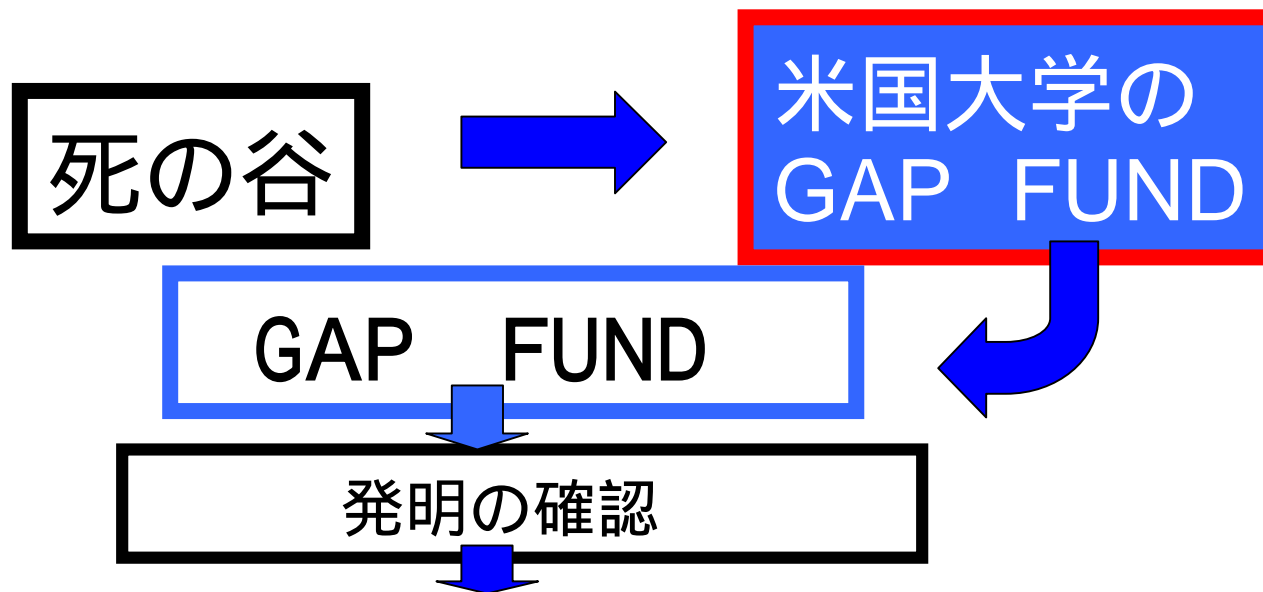
(有)金沢大学ティ・エル・オー(KUTLO)代表取締役社長  
KUTLO - NITT産学連携プロデューサー  
金沢大学客員教授

平野 武嗣

# KUTLO ?

- 2002年12月 承認TLO # 28
- 発明評価・・・出願準備・・・技術移転・・・入金管理
- 特許出願支援 発明評価 509件
- 特許出願数 323件、外国特許出願 76件
- 対価を伴っているライセンス契約の特許件数 59件
- 累計ライセンス収入(~2009/3)総額 101百万円
  - 大学特許・受領総額 67百万円
  - KUTLO特許・受領総額 34百万円
- 海外ライセンス特許数 19件
  - 累計海外対価受領総額 44百万円

これからはランニング・ロイヤルティ収入が楽しみ



**試作製造性、サンプル作製  
金型費用、動物実験など**

**技術移転先を見付けるために必要。  
公的資金では認められない用途**

# 米国のGAP FUND (AUTM2004)

をお手本にして

金沢大学のGAP FUND を 05年4月創設

企業を回り**7000**万円の寄付

地元金融機関、地元企業、産学連携に熱心な全国企業、金沢大学卒社長の企業、金沢大学**TOPs**個人

A4x1簡単申請、ライセンス可能IP優先  
ライセンス収入から4倍返し,基金維持

## GF の 成功事例

電波が見える！・・・？

「電磁波の可視化、電波の発生源と  
強さ方向が見える」

金沢大学自然科学研究科 八木谷 聡 教授

サンプルを作り展示会に出そう

日本最大のエレクトロニクス ショー  
CEATEC2007@TOKYO BIG SIGHT



**さわってみる (TANGIBLE)チャンス！**

## 2 ライセンス契約 締結

### 1. 電磁波可視 測定機器の製造販売

2009年4月展示会に試作品出展、商品化中

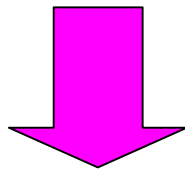
### 2. 可視化電磁波 測定サービスビジネス

2009年7月 測定業務に当技術導入開始予定

2社から一時金受領、ロイヤルティ契約

### 3. 自動車メーカー： 委託研究費

# 測定器製造販売、測定サービスビジネス 小さなイノベーション



## 目に見えない電磁波に悩む産業界

総務省電波管理部門

電気、機械、電力、自動車、エレクトロニクス

電気自動車部品メーカーの開発部門など

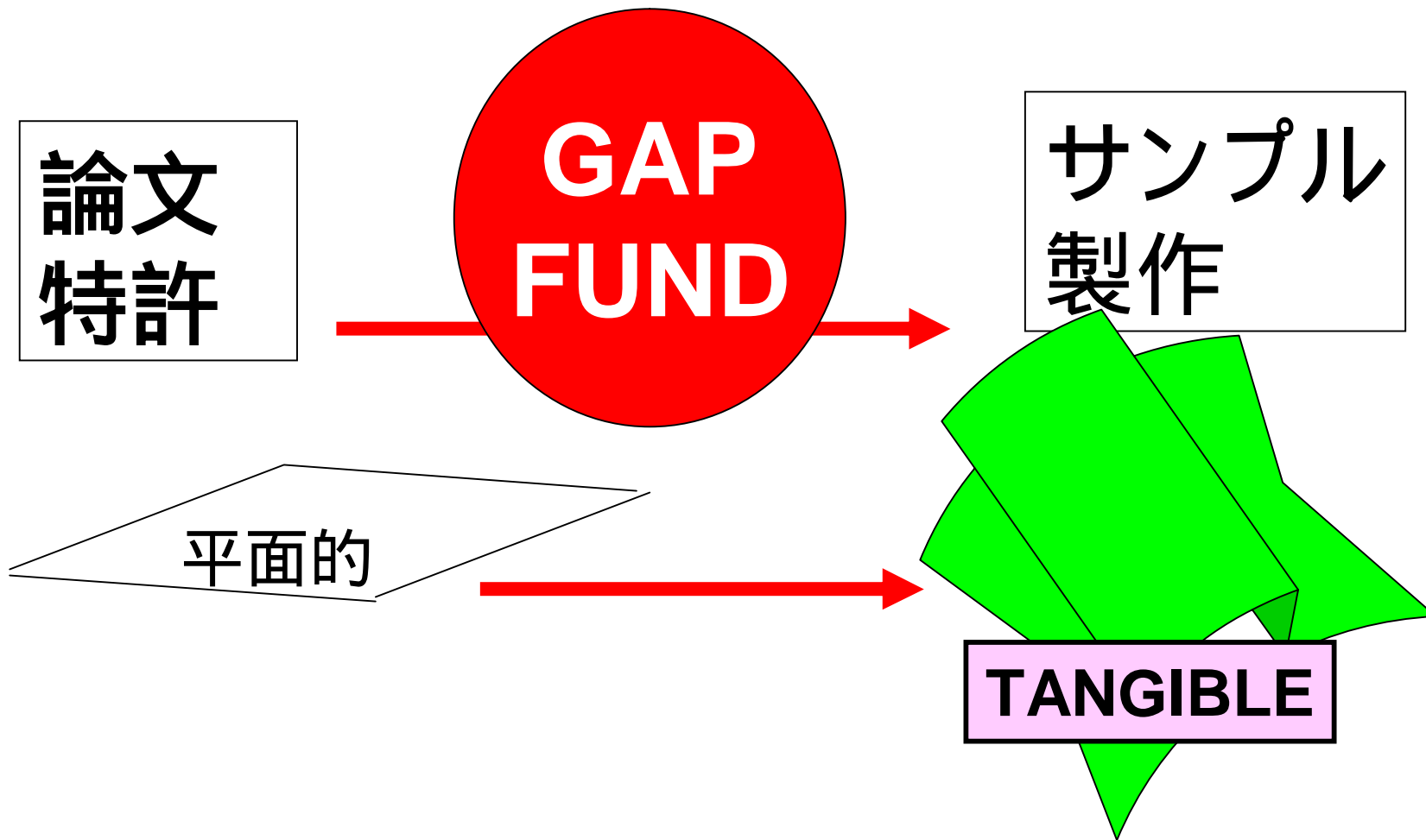
新製品・部品の開発  
開発時間短縮  
開発コスト節減



製品競争力の増大

大きなイノベーション



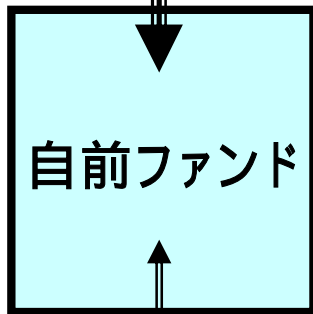


GF を 創りませんか

# 国への提案

大学又はTLOが自己調達した  
**FUNDへ2倍額の助成をお願い**

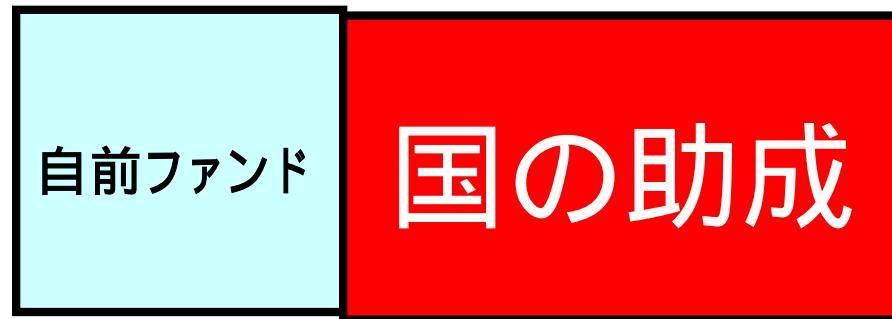
寄付、学長裁量費



ライセンス収入積立



大学GAP FUND



関連レポートを  
会場出口でお渡しいたします。

野村証券株式会社 法人企画部発行  
「ギャップ・ファンド ~技術移転の秘密兵器~」  
2009年6月20日

(有)金沢大学TLO 代表取締役社長  
平野 武嗣

10大学提携技術移転； 経済産業省・創造的産学連携事業

KUTLO-NITT

10

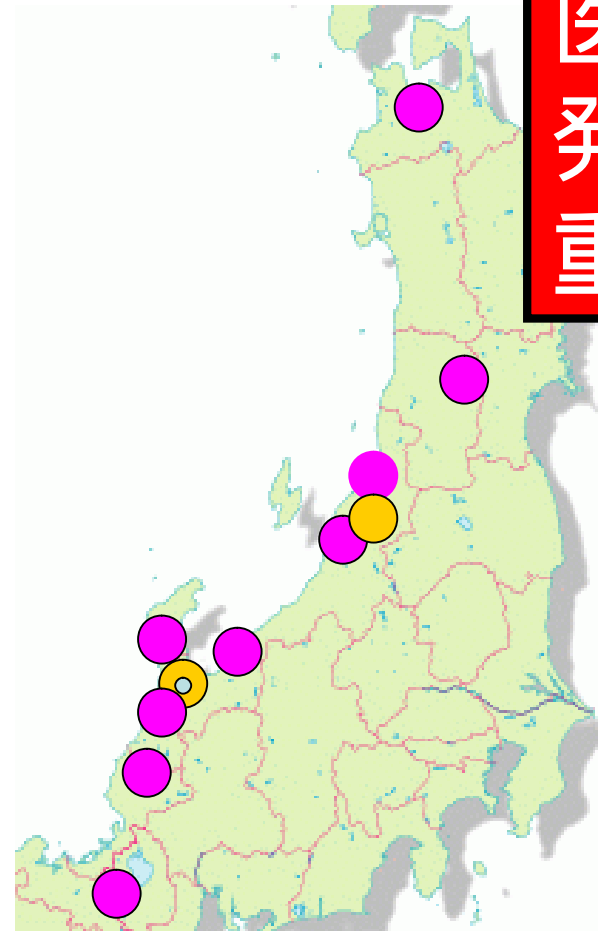
+

2

連携

弘前大  
山形大  
新潟大  
新潟薬大  
富山大  
金沢大  
金沢医大  
石川県大  
福井大  
同志社大  
NiTLO ●  
KUTLO ●

医薬品  
医療機器  
発明に  
重点



KUTLO

## バイオ・ライフサイエンス発明のライセンシング

日本で成功事例が少ない理由： シーズは優秀、人材不足

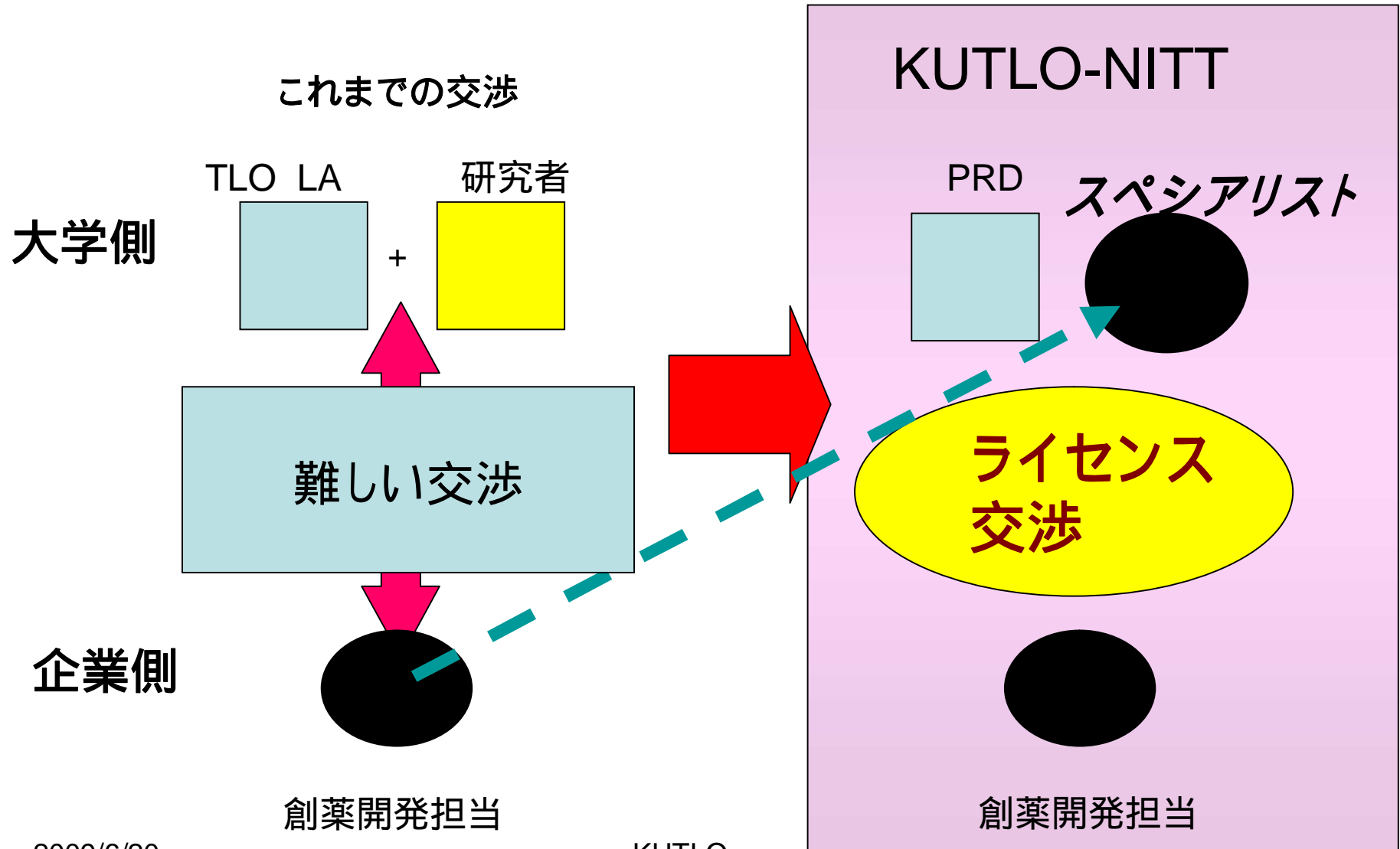
1. 新薬の開発の実戦経験者がTLOに少ない。
2. 製薬業界の人材はTLO賃金に魅力示さない。

**KUTLO-NITT**

日本海地域大学イノベーション技術移転機能

1. 10大学2600名のダイヤモンド研究を世界の製薬業界に問う。
2. 国際業務、新薬開発経験者を獲得。10大学で希少人材を共用。
3. 製薬会社との衡平な協議でライセンス、実用化を実現。
4. 地方大学グループで大学の序列破壊、実施料・研究費の導入。  
研究・教育の活性化。 優秀学生の獲得。

# 交渉は核心について



# 世界最大のBIO展示会 BIO2004~2009 6年連続参加

## BIO2009@Atlantaは10大学で14発明展示



2600人のバイオ研究者 + 創薬開発・国際ビジネス経験者 = 実用化へ

# そして、もう一言

( J S T ジャーナル08年1月号に掲載 )

## 特許法第73条3項の規制緩和を！ 製品化進め技術を世のために生かす

高速原子間力顕微鏡に関する安藤敏夫教授の研究成果を日、米、独の企業に技術移転したコーディネーター、平野武嗣氏が共有特許の第三者ライセンスの課題を指摘し、特許法第73条3項の規制緩和を訴える。

大学でない共有者が実施しない場合、大学が第三者にライセンスする際に他共有者の同意必要、の現行規程改定：

前に加賀藩が金沢・彦三(ひこそ)にワクチンセンター“種痘所”を開設した年を金沢大学の医学部の起源としているからである

「ただし、大学・公的研究機関など自己実施能力のない共有者についてはこの限りではない」73条3項に追加



平野 武嗣  
(ひらの・たけつぐ)